

サービス種別(下記から選択して下さい。)

	提供の可否	特記すべき事項
杖歩行者への対応	可	
車いす利用者への対応	可	
寝たきり者への対応	否	
鼻注栄養者への対応	否	
胃瘻造設者への対応	否	
中心静脈点滴を行っている者への対応	否	
処置を伴う褥瘡がある者への対応	可	処置方法による
人工肛門造設者への対応	可	自己で対処できること
膀胱留置カテーテル者への対応	可	自己で対処できること
膀胱瘻・腎瘻の者への対応	可	自己で対処できること
気管切開者への対応	否	
喀痰吸引の実施	否	
人工呼吸器装着者への対応	否	
在宅酸素療法者への対応	可	自己管理可能であること
人工透析者への対応	可	ADLが一部介助であること
終末期の者への対応	可	座位、立ち上がり、歩行、移乗が一部介助であること
真菌症のある者への対応	可	部位、感染力による集団での生活が可能であること
疥癬のある者への対応	否	
B・C型肝炎のある者への対応	可	通常の生活で感染の恐れがないこと
MRSA陽性者への対応	可	通常の生活で感染の恐れがないこと
HIV陽性者への対応	否	
梅毒反応陽性者への対応	可	通常の生活で感染の恐れがないこと
聾・難聴者への対応	可	文字や動作でコミュニケーションがとれること
意識障害のある者への対応	否	
全盲・弱視者への対応	否	
失語症のある者への対応	可	ADLが一部介助であること
認知症等で記憶障害のある者への対応	可	ADLが一部介助であること
幻覚・妄想のある者への対応	可	疾患により判断する。個別対応する時間に制限あり
徘徊のある者への対応	可	徘徊の頻度、認知症の進行度による
異食のある者への対応	否	
精神障害のある者への対応	可	疾患により判断する。個別対応する時間に制限あり
知的障害のある者への対応	可	認知症の対応に準ずる

健康診断書の必要性	
サービス利用時に健康診断書の提出	必要